



フィールド サービス ニュース

富士重工業株式会社

本社：東京都新宿区

西新宿1-7-2

(スバルビル)

NO. FAN-023

発行 46年11月25日

錐揉からの回復操作手順変更について

FA-200の錐揉からの回復操作手順は現在飛行規程で次のように定めてあります。

錐揉カラノ回復操作

1. 方向舵，補助翼－回転ガ停止スルマデ反対方向ニ一杯操舵
2. 昇降舵，方向舵，補助翼－回転停止ト同時ニ中立
3. 気速ニ注意シナガラ姿勢回復
4. 錐揉中オヨビ回復完了マデエンジン・アイドル

すなわち本機ではラダーと一緒にエルロンを使用して回復操作を行なっています。

ところで、錐揉の回復操作について耐空性審査要領2-8項では「……………，通常の回復操作により1.5回転以内で回復できなければならない。」とあります。この「通常の回復操作」というのが具体的にどういう操作をさすのか明解ではありませんが、ちなみに他機の飛行規程などを参考に調べてみますと、方向舵，昇降舵による回復操作が一般的でエルロンは使われていないようです。

FA-200でも、エルロンを使わないと錐揉からの回復ができないということではありません。

実際にはエルロンを使わなくても充分回復できますし、なんら不安はありません。ただエルロンの効きが他機にくらべて大きいため使用した方が若干回復が早いようです。そこでFA-200の場合も、他機種への移行場合等の操作上の共通性を持つために標準の錐揉回復方法としてエルロンを使用しない方法に変更することにし、飛行試験を行なつて飛行規程の改訂をすることにしました。

飛行試験はU類の場合で、最大重量、重心最後退という最もシビアな状態で実施し、充分満足すべき結果を得ました。

以上の理由により錐揉からの回復の操作手順を次の如く変更し、飛行規程の改訂を行ないます。
(既納機についてはプラカードの交換を含めたサービス通信FAS-061および臨時飛行規程改訂通知FMR-6001, FMR-8001を発行します。

錐揉カラノ回復操作

1. 方向舵－旋回ガ停止スルマデ反対方向ニ一杯操舵
2. 昇降舵－方向舵ヲ操舵ト同時ニ素早ク前方ヘ押ス
3. 方向舵, 昇降舵－旋回停止ト同時ニ中立
4. 速度ニ注意シナガラ姿勢回復
5. 錐揉中オヨビ回復完了マデエンジンアイドル